

## **米国・中国の ISO50001 導入状況**

### **エネルギーマネジメントシステムの導入、米中が着々と準備**

米国と中国におけるエネルギーマネジメントシステム(ISO50001)の導入の機運は以下のように高まっています。

#### **○米国**

##### **☆エネルギーマネジメント基準化の状況**

米国は以前、ISO50001 の素案となったエネルギーマネジメントのための米国工業規格 (ANSI/MSE2000:2008) で運用していましたが、2011 年 6 月 ISO50001 の発行に伴い、同規格へ移行しました。米国エネルギー省 (DOE) は同規格の実施を前提条件とした SEP (Superior Energy Performance) プログラム※ を活用して、2008 年～2011 年にフィールドテストを実施し、参加企業はエネルギーパフォーマンスを 2～3 年間で 6.5～17%向上しました。

##### **☆認定・認証機関の状況**

米国認定委員会 (ANAB) によって ISO50001 認定を受けた認証機関には BSI、SGS、DNV、BVQI、DEKRA、NQA などの機関があります。

##### **☆認証取得企業の状況**

36社が参画している SEP を通して ISO50001 の認証を取得した企業は以下の 26 社となっています。3M、Alcoa、Allsteel、Amcor PET、Bentley Prince Street、Bridgestone Tire、Cook Composites & Polymers、Cooper Tire、Didion Milling Inc、Dow Chemical、Eaton、Freescale Semiconductor、General Dynamics、Haynes International、Holcim、JR Simplot、Lockheed Martin、Kenworth Trucks、Owens Corning、Neenah Foundry Company、Nissan、Schneider Electric、Spirax Sarco、Traco、Volvo、World Kitchen

ISO50001 の認証を取得しそうな企業の総数は ISO14001 の企業数 (約 4900) と同規模と想定されています。

##### **※SEP の ISO50001 に対する付加項目**

ISO50001 では目標の設定は組織が行えばよく、目標レベルの要求はありませんが、SEP にはエネルギーパフォーマンス (原単位など) 低減目標という数値目標が設定されています。達成レベルによって 5%以上なら silver 賞、10%以上なら Gold 賞、15%以上なら platinum 賞というふうにグレードが与えられます。また、ISO50001 では適用対象は「組織」となっていますが、SEP では「ファシリティ (産業施設・業務建物)」を対象にしています。

## ○中国

### ☆エネルギーマネジメント基準化の状況

中国は ISO50001 の要求事項を反映した国家エネルギー管理規格（GB/T23331-2009）を発行しています。

このエネルギーマネジメントシステム（EnMS）を推進する国家プロジェクトとして、“Top 10000 Energy Consuming Enterprises Program”があり、中国のエネルギー消費の 2/3 を占める一定消費規模以上の 17000 社を対象として、エネルギー計測、エネルギー診断、省エネ技術、省エネ研修など EnMS を進めようとしています。

また、国家発展改革委員会や国家標準化管理委員会（SAC）は 2015 年までに鉄鋼、セメント、窯業、石炭、紙、石油など 10 分野に対して、EnMS の関連規格を開発する計画です。

### ☆認定・認証機関の状況

国家認証認可監督管理委員会（CNCA）が 175 の認証機関、37 の研修機関、308 のコンサルタント機関などを認定しています。

### ☆認証取得企業の状況

ISO50001 の要求事項が盛り込まれた国家規格（GB/T23331-2009）での認証を得た企業は Baosteel Group Corporation、Beijing Capital Airport Power & Energy Co. Ltd をはじめ 36 社あります。中国は今後 2 年くらいで国家規格から ISO50001 に移行しようとしています。

以上